

平成 17 年度 特定課題横断セミナー 開催状況

(1) 第 1 回特定課題横断セミナー

日 時： 2005 年 8 月 26 日(金) 18:30～21:30

場 所： 横浜市開港記念会館 1 号室

参加者： 116 名

テーマ： 「生きもの」も「なりわい」も豊かになる森づくりを考える
～丹沢の森林環境と整備のあり方について～

プログラム：

報告

丹沢再生をめざして ～県民参加による政策提言づくり～

調査企画部会・政策検討ワーキンググループリーダー 羽山伸一 氏

森林劣化の現状と森林整備の方向性

地域再生調査チーム政策担当・山のなりわい再生複合戦略グループリーダー富村周平氏

丹沢の生物多様性の現状と保全に向けた提案

生きもの再生調査チーム・大型哺乳類調査 / 外来種調査グループリーダー羽澄俊裕氏

総合討議 コーディネーター / 調査企画部会長 木平勇吉氏

概 要：

森林整備を主なテーマとして、地域再生チーム・なりわいグループからの調査結果を踏まえた提案と、それを受けた生きものチームとしての考え方を報告した。

(2) 第 2 回特定課題横断セミナー

日 時： 2005 年 10 月 14 日(金) 18:30～21:00

場 所： 横浜市開港記念会館 1 号室

参加者： 119 名

テーマ： 丹沢の「沢」を考える ～安全で生きもの豊かな溪流を求めて～

プログラム：

丹沢の溪流環境をどう考えていくか

水と土再生調査チームリーダー 鈴木雅一 氏

生きものからみた丹沢の溪流環境

生きもの再生調査チームリーダー 勝山輝男 氏

行政の取り組み

・防災からみた溪流の整備 県土整備部 砂防海岸課 技幹 大沢克重 氏

・森林からみた溪流の整備（治山事業の概要と丹沢での取り組み）

環境農政部 森林課 技幹 渡邊 弘 氏

・酒匂川における総合的土砂管理について

県土整備部 河川課 副技幹 畑澤 俊 氏

総合討議 コーディネーター / 調査企画部会長 木平勇吉 氏

概要：

特定課題の「溪流生態系の保全」について、水と土再生調査チームと生きもの再生調査チームからの報告につづき、担当行政3課より、各課の考え方と、これまで行ってきた事業についての報告をしていただいた。

(3) 第3回特定課題横断セミナー

日時：2006年1月27日(金) 18:30~21:00

場所：横浜市開港記念会館 6号室

参加者：129名

テーマ：丹沢に生きもののネットワークを取り戻すために

～ 希少種の保全と外来種の除去 ～

プログラム：

沢の保全再生で目指すべきもの

政策検討ワーキンググループリーダー 羽山伸一氏

希少種保全の方向性と具体事例

- ・希少種保全の基本的な考え方

生きもの再生調査チームリーダー

維管束植物/希少種対策グループリーダー 勝山輝男氏

- ・希少種の保全 - サンショウウオの事例

生きもの再生調査チーム・両生類グループリーダー 石原龍雄氏

外来種対策の方向性と具体事例

- ・外来種対策の基本的な考え方

生きもの再生調査チームサブリーダー

大型哺乳類/外来種対策グループリーダー 羽澄俊裕氏

- ・丹沢山地における外来鳥類

生きもの再生調査チーム・鳥類グループ外来種担当 加藤ゆき氏

総合討議

コーディネーター / 調査企画部会長 木平勇吉氏

概要：

特定課題の「希少種の保全」と「外来種の除去」について、生きものチームの担当者から調査結果と今後の政策への結びつきについて報告した。

(4) 第 4 回特定課題横断セミナー

日 時： 2006 年 3 月 4 日(土) 10:00 ~ 12:00

場 所： 県厚木合同庁舎分庁舎 (愛甲教育事務所) 講堂

参加者： 250 名

テーマ： 丹沢再生 はじまる ~ 私たちは、何をすべきか、何ができるか

プログラム：

自然再生とは？ ~ 新・生物多様性国家戦略の展開と自然再生

環境省自然環境局自然環境計画課 谷川潔氏

知床での自然再生の取組

財団法人知床財団 山中正実氏

丹沢再生の方向性

丹沢大山総合調査政策検討ワーキンググループ・羽山伸一氏

概 要：

「自然再生」をテーマに、一般県民を対象として、シンポジウムを開催した。報告としてまず始めに、環境省の谷川氏から、現在の自然環境行政の総合的施策と、その中での自然再生の位置づけ、全国の事例を紹介いただき、続いて、知床財団の山中氏より民間組織である知床財団が主体となった自然再生の取組の事例の紹介をしていただいた。最後に羽山氏より、基本構想(案)の説明と、今後の進め方の方向性などを報告した。

午後は第 3 回政策検討ワークショップとして、パネルディスカッションを開催した。